

[Yahoo!ジオシティーズサービス終了のお知らせ](#)

京葉エステート(株)

www.kestate.co.jp

船橋市近郊の不動産情報をご提供・マイホーム購入ならお任せ下さい！

Ads by Yahoo! JAPAN

[TEXT版へ](#)

せっかく水上だから 谷川岳西黒尾根からトマノ耳、天神平

2007年8月26 日	天候: 晴れ	山域: 谷川岳
谷川岳トマノ耳(1963m)		
コース: ロープウェイ駐車場～西黒尾根登山口～西黒尾根～トマノ耳～肩の小屋～天神尾根～天神平(ロープウェイで下山)		

昨日から用事で水上に。
途中の上牧あたりから、谷川岳山頂の双耳峰が良く
見えた。
今日もいい天気。登ってきたいなあ、思いきって実
行。

明日もあさっても「日曜」だから、急いで帰らなくてもいい。🏠屋に水上で用事が終わったあと、🚗で登山口の土合へ。🚗駅前を通過、ロープウェイ乗り場まで行って、駐車場に止める。ロープウェイの最終を確認すると、17時。今は13時、4時間で間に合うか？往路をロープウェイにすれば時間の心配はないが、岩場、クサリ場のある西黒尾根を下る自信がない。順調なら登り2時間、下り1時間、あと1時間の余裕があるから大丈夫だろう。行ってしまおう！

駐車場のややこしい建物から出て、ロープウェイ駅前スタートは13時5分。カーブの続く車道を登り、西黒尾根登山口が13:16。しばらくは樹林の中の急登。岩がゴロゴロ、木の根っこがはりだしたりしているが、通る人が多く階段状に整備？されていて、体力以外使わないですむ。



13:24、送電鉄塔のところで尾根筋に出た。見晴らしの良いところだ。まだしばらくは樹林の下、2足歩行できる道。午後なので、上から次々に下りてくる。気軽な装備(ショルダーバッグとか)の人や、👵婆さんグループも。なんだ、たいした岩場なかったのかな？

しかし、ついに大きな岩の横に出てしまった。これを登らなければならない。しっかりした新しい鎖もついて

いる。下を見ないで、鎖をまたいでグイグイと登れば問題ないはずだが、つい、見てしまった～😱 ぎゃ～
🔥見えてしまった～😱 岩の真下は遥かかなたの谷底。わ～～怖いよ～～😱💧 何を考えたか、鎖をたぐらず
岩にしがみついて3点確保で登った。怖くて心臓バクバク、どこに手足置くんだか悩み、一気に登れない。

命がけで(大げさ!)登りきったが、足がガクガク震え、ふらついて落ちてしまいそう。岩場じゃないところ
も、細い崩れかけたトラバースだったり。下りでここ曲がりそこなったら滑り落ちて止まらないじゃない、お～
怖っ💧って思っているとまた一組上からスイスイ下りてきた。思わず、この下のクサリ場、怖いですよ～と泣
きを入れてしまったら「あと2～3本ありますよ」と。昔々一度このコース、夜行で来たことがあるのでそれは
覚悟している。そのときはヘッドライトを忘れたという見知らぬおじさんといっしょに登ったし、登山者が列を
なすほどたくさんだったのと、ガスって下が見えなかったのもそれほど恐怖はなかったのだが。やはり初め
の岩場が一番怖かったと記憶している。



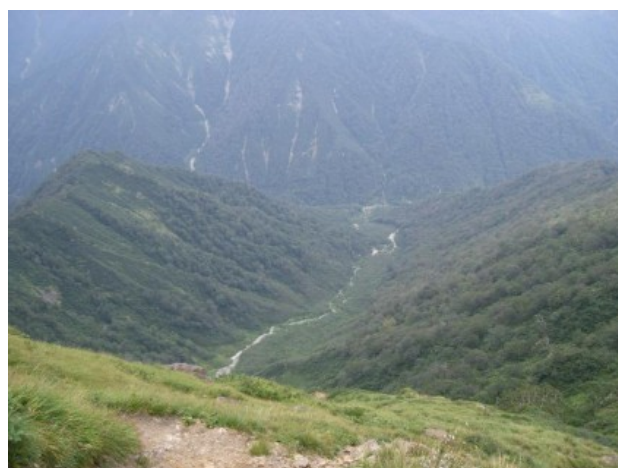
次のクサリ場は2段になっている。上から下りてくる2人組みがいたので順番待ち。2本目の鎖に持ち替えるのが怖い。その後も細い尾根の急登が続く。こんどは小学生くらいの男の子が家族と下りてきた。よく平気だなあ。



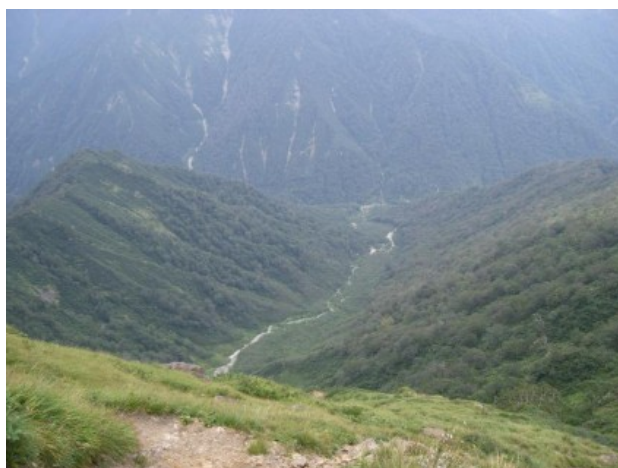
天候不安定な谷川岳だが、今日は晴天が続いている。下りに使う天神尾根が全部見渡せる。もうずいぶん高い位置まできたんだな。前方には岩ゴロゴロが続く。実物はもっと急で立ちはだかっているように見えたが、写真だとしたら、こんなもんだったのかなあ？



今までのような一枚の大岩ではないが、岩の間をペンキ印たよりにジグザグに登るところが何回も。振り返ると、急なところは道が見えない。なんでみんなこんなところ平気で2足歩行で下りれるんだろう。旅がらすは四駆で怖々登る。



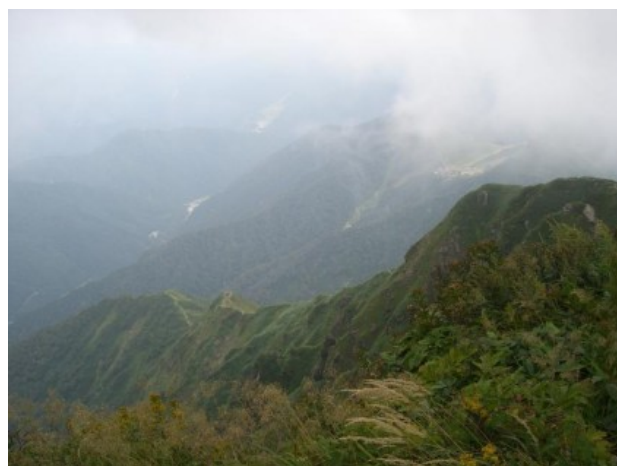
年寄りも、しまいには幼児を背負子に入れたパパも降りてきた。沢をへだてて東尾根のギザギザな稜線が。あっちには一般コースの登山道はない。



一番怖いところではデジカメを出す余裕もない。ちょっとマシになると、そうそう、写真って感じで、今登って来た道を振り返る。



前方を見上げると、わ～、脚が届かないじゃん、どうやって登るんだあ～～。



山頂直下はいくらかなだらかになって、岩のてっぺんに「トマの耳」の標識。13:11。やれやれ、怖かったわりには2時間で登ってこれた。



でも、帰ってから気づいたけど、双耳峰のもう一つ、オキノ耳のほうが高く、そっちが「谷川岳」の山頂だった！ありゃ〜。まあいいや、過去に登頂したことはあるし、また来るだろうから。

見晴らしよいが、西側からガスってきた。とりあえず肩の小屋に下りる。



前回肩の小屋に来たのは何十年前だろうか？多分建替えられている。

16:16、天神尾根の下りに入る。こちらでも急だけど、丸太の階段など、良く整備されている。万太郎、仙の倉への縦走路の眺めも良かった。



ロープウェイ最終まで2時間弱。肩の小屋直下で1組追い抜いたけど、あの人たちに合うかなあ。天神尾根にも岩ゴロゴロのところ、急なところもあったが、西黒尾根と比べたら可愛い。恐怖から解放され、見晴らしを楽しみながら下れた。



下の写真は谷を隔てた、左側(東北側)の展望と、右(南)の谷底を見おろした展望。



いわお新道分岐の避難小屋を過ぎると、ときどき木道が現れ、尾根の北側の巻き道になる。もうすぐ天神平？と思うとまた急な岩ごろごろが出てきたり。でもいつのまにか木道が連続する区間まで下りていた。元気な小学生の男の子を連れた家族2組を追い越す。一人の男の子がしばらく走ってついてきた。



土合まで下れる田尻尾根コースの標識をすぎると、すぐ天神平。スキー場のリフトが観光用に動いている。16:04。ロープウェイ最終まで余裕なので、展望を楽しみ周辺を散策。



登りに使った西黒尾根の全貌が見える。



稜線が重なる一番奥が東尾根、中央が西黒尾根。

ゴンドラでは先ほどの小学生連れ2組と乗り合わせた。私も子どもが小さい頃、こうやってあちこちファミリーハイキングに行ったものだ。自然の美しさ、力を見せてあげたかったし、達成感も知ってほしかった。でもうちの子供たちには「達成感」という概念がなかったようだ。それで子どもは迷惑がっていたが、私はどうしても山に行きたかったし、連れて行くしかなかった。大きくなるのを待っていたら何年お預け？ってそれが本音だから子どもに山の良さが伝わらなかったのかな？



ゴンドラの下に、幅広くジグザグの良く整備された道が続いていた。なあんだ、あれ下りられるんじゃないかな。次回はゴンドラ代節約できそう。谷川温泉からのコースもいろいろあるし、蓬峠、朝日、白毛門への周ユウも懸案。朝日から巻機への縦走も何十年來の懸案だ。せっかく群馬に住みついたのに、夏場、草むしりに追われてほとんど山に行けなかった。しばらく行かないと、あの山は怖そう、藪で迷ったら大変、岩で滑ったら大変、と逃げ腰になってしまう。そんなこと言っているとあっという間に何年も。これからは、山いくぞ～～。

[HOME](#)
[年8月へ](#)

[からっ風にふかれてぶーらぶらへ](#)

[群馬県の山と峠へ](#)

[旅がらすの乱ラン欄7](#)



多焦点眼内レンズ

自分に合った
眼内レンズの
選び方とは

オンデマンド ラジオ番組

白内障と診断されたら
分かりやすい最新の多焦点眼内レンズ事情

エイエムオー・ジャパン 株式会社



produced by Pasco

焼きたてパンで
いつもの食卓が
ビストロに

L'Oven (ル・オープン) 詳しくはこちら >



株式手数料に1ヶ月定額制という選択！

岩井コスモ証券

投資スタイルや取引頻度に合わせて選べる1ヶ月定額制のマンスリーコースに信用取...



医者「整形よりいいよ」美魔女49歳の秘密

株式会社オージオ

たった1滴でOK！保田圭も注目の卵殻膜ケアで-20歳肌

Ads by Yahoo! JAPAN